

設置15年が経過、築63年で装置交換計画

給・排水管 長計から更新削除

NMRパイプテクター

設置物件

訪問



コープ野村南石切

抜管調査で黒錆化進行を確認

「建物の寿命まで現状を維持できると確信」

宮城県仙台市若林区の「コープ野村南石切」(1978年築、3階建て24戸)が配管更生装置「NMRパイプテクター」を設置し15年が経過した。「今」を取材した。

「コープ野村南石切」だ。4年前に専門家に切」がパイプテクターを依頼して向こう30年間を設計したのは200の長期修繕計画を立て1年8月、築24年目をた。そこには築63年時迎える年だった。あれにパイプテクターの交から15年が経過。今年 換算が組み込まれて築39年を迎えた。

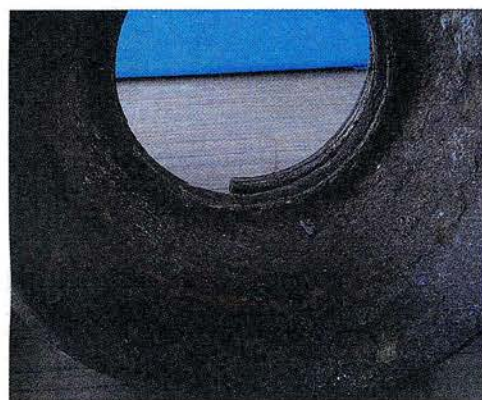
「給水管はもとより、排水管も延命が図られており、長期修繕計画では更新の予定はない」
こう話すのは、営繕果はゆっくり減退する。そのため、設置41年目に新しい装置に交換する計画になっている。設置41年目といえ年6月に配管の劣化進行調査だ。その結果が左の報告書によれば、給水管はいずれも「配管内部の劣化による赤錆び化はほとんど見られ

「排水管洗浄回数を30%削減しました」

「築年数を重ねると、排水管も劣化による赤錆び進行がな



高築水槽2次側給水管。赤錆び化は見られず閉塞もなし



排水管も劣化による赤錆び進行がなく黒錆び化を確認



営繕担当理事の古田武さん。最近、リフォームした部屋の配管を譲り受けたが、「全く問題がなかった」と延命効果にさらに自信を深めた

「排水管も劣化による赤錆び進行がなく黒錆び化を確認」
古田武さん。最近、リフォームした部屋の配管を譲り受けたが、「全く問題がなかった」と延命効果にさらに自信を深めた。そして、排水管も劣化による赤錆び進行がなく黒錆び化を確認

「築年数を重ねると、排水管も劣化による赤錆び進行がな

「築年数を重ねると、排水管も劣化による赤錆び進行がな